

徳島市・名東郡体操発表会 練習～校内壮行会～本番

6月4日、徳島市・名東郡体操発表会が開催されました。

この体操発表会に向けて、5月から、4年生～6年生7名の児童が、月・水・金の放課後、跳び箱とマット運動の練習をこつこつと重ねました。はじめはできなかった技や難しい技をこつこつと練習する中で、仲間といっしょにがんばる楽しさ、苦しさや難しさを超えてできた達成感、できるようになった技がより美しく上手になるよう練習をする面白さなどを、一人一人が体感していました。



6月4日の朝は、7名の児童が、自分ができるようになった技、体操発表会で発表する演技を、全校児童に披露しました。見ている児童は、それぞれの演技を食い入るように見つめ、大きな拍手を送っていました。



6月4日午後は、いよいよ徳島市・名東郡体操発表会本番。ともにアリーナ（市立体育館）に徳島市・名東郡の各学校の児童が集まる中、5名の児童が練習の成果を披露しました。一宮小が跳び箱の演技をしている時、修学旅行や宿泊学習でともに活動した入田小の子どもたちが、大きな声で声援を送ってくれました。演技後は、一宮小の子どもたちも、入田小の観客席にお礼を言って手を振りました。交流で得た温かいきずなが感じられ、とてもうれしくありがたかったです。たくさんの観客の前での演技に、緊張しながらも、一人一人が精一杯がんばった本番でした。



体操発表会にエントリーできるのは、4年生～6年生です。一宮小の4年生～6年生は、11名。その中で、7名が練習に参加し、5名が出場したことは、本当にすばらしいことです。さらにうれしかったのは、体操発表会後の体育でも、4年生～6年生が、練習に参加した子、参加しなかった子関係なく、跳び箱やマット運動に、意欲的に取り組み、自分のできる技をどんどん増やしていったことです。また、1年生から3年生も、跳び箱やマット運動に、苦手意識をもたずに進んでチャレンジして、跳び箱を軽々跳べる子が増えています。

どうしたらできるようになるのか、自分で考えて動くこと。はじめはできなくても、こつこつと続けてたradできるようになる実感、面白さ。仲間とともにがんばる楽しさ。そして達成感。子どもたちは、他にも通じる大切な学びを得たようです。